

(秘 外 部)

海軍公報

第一千五百二十六號

海軍大臣官房

大正六年七月一日(月)

○艦船所在

指定ヲ要セス

○十月一日午前十時調

【横須賀】 河内、生駒、八雲、津輕、周防、橋立、

千早、最上、松江、滿州、巨白霧、夕暮、夕立、

三日月、巨夕霧、澄雲、陽炎、曙、臘、

巨山風、海風、櫻、橘、不知火、薄雲、浦風、

巨鷗、雄、鴻、白鷹、巨潜一三、潜一、潜二、關東、

勞山、勝力、鹿兒島丸、栗橋丸、長浦丸

【大 王 崎】 音羽

【大 湊】 巨吹雪、有明

【函 館】 武藏

【吳】 巨磐手、淺間、攝津、鞍馬、伊吹、常磐、

石見、富士、千歲、嚴島、巨彌生、疾風、追風、夕風、

巨潜三、潜四、潜五、潜六、潜七、巨水六七、水六八、

水七〇、水七一、椅子山丸、硯海丸、雁山丸、

板橋丸

【宮 島】 巨榛名、金剛、霧島、巨吾妻、巨天津風、

時津風、磯風、濱風、巨樺、桐、

【大 阪】 大和

【大 戸】 伊勢

【德 山】 巨扶桑、山城、安藝、薩摩、巨鹿島、香取

【別 府】 第八多聞丸

【佐 世 保】 若宮

【長 崎】 比叡、利根、嵯峨、宇治、沖島、巨蒼鷹、

【舞 鶴】 燕、雁、鶴、志自岐、膠州、狼橋丸

【鎮 海】 日向

【馬 公】 三笠、見島、巨千鳥、真鶴、鶴、隼、

【芝 罘】 巨水七四、水七二、水七三、水七五、淀橋丸

【旅 順】 巨村雨、朝霧

【大 長 山 島】 秋津洲、巨白雲、朝潮

【南 洋 群 島】 巨鷗、鷺、雲雀、鶴

【上 海】 千代田

【漢 口】 南開丸、以智丸

【新 嘉 坡】 隅田

【新 嘉 坡】 鳥羽

【新 嘉 坡】 巨矢矧、明石、淀、初霜、神風

【新 嘉 坡】 春日

【新 嘉 坡】 對馬

【新 嘉 坡】 巨出雲、巨松、杉、巨櫻、柳

【新 嘉 坡】 巨桂、楓、梅、楠

【新 嘉 坡】 坡西土

海軍公報第一千五百二十六號

大正六年十月一日

六一五

柏桃
檜
磯

航海中

響(九月二十二日彼南發一尋堆へ)
 巳時雨、春風、初春、初雲、九月二十五日佐世保發香港へ)
 筑摩、平戸(九月二十六日「シドニー」發、スバへ)
 新高(九月二十七日「サンチャール」發、ヤへへ)
 須磨(九月二十七日坡西土發亞丁へ)
 浦波、磯波、綾波(九月二十八日大連發青島へ)
 如月(九月二十八日新嘉坡發一尋堆へ)
 青島(九月二十九日青島發德山へ)
 高崎(九月三十日吳發長崎へ)
 敷島、肥前、朝日、阿蘇、巨潮、子日、若葉、朝風、
 長月、菊月、水無月、卯月、野分、松風、白雪、霞、
 韓崎、駒橋、潜一六、潜八、潜九、潜一五、潜一七、
 潜一一、潜一〇、潜一二(九月三十日吳發別府へ)
 日進(九月三十日新嘉坡發古倫母へ)
 伏見(一日漢口發上海へ)

○雜款

○郵便物發送先
 第三艦隊司令部、第三、第四水雷戰隊司令部、及軍艦敷島、

肥前、朝日、阿蘇、若宮、韓崎、駒橋、第五、第七、第九驅逐
 隊、第三、第四潜水艇隊、艦隊航空隊宛
 十月二日迄到着見込ノモノハ 大分縣別府
 山口縣徳山
 其ノ後ハ
 運送船志自岐宛 佐世保郵便局留置

○通信
 船橋海軍無線電信所空中線ニ故障アリ通信出來ス修理
 ニ三日間ヲ要スル旨報告アリ

(秘 外 部)

海軍公報

第千五百二十七號

大正六年十月二日(火)

海軍大臣官房

○艦船所在

指定ヲ要セス

○十月二日午前十時調

【横須賀】

河内、生駒、八雲、津輕、周防、橋立、

千早、最上、松江、滿州、白霧、夕暮、夕立、

三日月、夕霧、霞雲、陽炎、曙、颯、

山風、海風、櫻、橘、不知火、薄雲、浦風、

白鷺、雄、白鷹、潜一三、潜一、潜二、關東、

勞山、勝利、鹿兒島丸、栗橋丸、長浦丸

【大 王 崎】

香羽

【大 湊】

吹雪、有明

【函 館】

武藏

【吳】

磐手、淺間、攝津、鞍馬、伊吹、常磐、

石見、富士、千歲、殿島、彌生、疾風、追風、夕風、

潜三、潜四、潜五、潜六、潜七、椅子山丸、硯海丸、

歷山丸、板橋丸

【大 阪】

大和

【神 戶】

伊勢

【山 門】

扶桑、山城、安藝、薩摩、鹿島、香取

【司】

第八多聞丸

【別 府】

敷島、肥前、朝日、若宮、阿蘇、潮、

子日、若葉、朝風、長月、菊月、水無月、卯月、

野分、松風、白雪、飛、韓崎、駒橋、潜一六、

潜八、潜九、潜一五、潜一七、潜一、潜一〇、

潜一二

【佐 世 保】

比叡、利根、嵯峨、宇治、沖島、蒼鷹、

燕、雁、鶴、猿橋丸

【長 崎】

日向

【舞 鶴】

三笠、見島、千鳥、真鶴、鶴、隼、

水七四、水七二、水七三、水七五、淀橋丸

【鎮 海】

村雨、朝霧

【馬 公】

秋津洲、白雲、朝潮

【旅 順】

千代田、鶴、雲雀、鶴、白銀丸

【南 洋 群 島】

南開丸、以智丸

【上 海】

隅田

【淡 口】

鳥羽

【新 嘉 坡】

矢矧、明石、響、初霜、神風

【マニラ】

新高

【サイパン】

春日

【マニラ】

對馬

【ボルネオ】

出雲、橙、柳

海軍公報第千五百二十七號

大正六年十月二日

六一七

四坡西士
 アレキサンダー
 タラント
 ビロアス

檜

楸

航海中

四時雨、春風、初春、初雪(九月二十五日佐世保發香港へ)
 須磨(九月二十七日坡西士發亞丁へ)
 浦波、磯波、綾波(九月二十八日大連發青島へ)
 青島(九月二十九日青島發德山へ)
 高崎(九月三十日吳發長崎へ)
 日進(九月三十日新嘉坡發古倫母へ)
 淀(九月三十日新嘉坡發一尋堆へ)
 伏見(九月三十日「モルタ」發馬耳塞へ)
 膠州(一日佐世保發馬公へ)
 口榛名、金剛、霧島、吾妻、天津風、時津風、磯風、濱風、巨樺、桐(一日宮島發德山へ)
 志自岐(一日佐世保發「ランファン」島へ)

○雜款

○第一驅逐隊行動豫定

地名	著	發
新嘉坡	十月八日	十月六日
柴棍	十月十四日	十月十日
香港	同二十一日	同十六日
上海	同二十七日	同二十四日
佐世保	同	同三十一日
橫須賀	十一月三日	

(秘 外 部)

海軍公報

第千五百二十八號

海軍大臣官房

大正六年十月三日(水)

○令 達

官房第二九八七號
受託艦逐艦製造若ハ受託兵器製造ニ關聯スル建築工事ニ從事セシ經理部建築科ノ官役職工人夫ニシテ熱心ニ服業シタル者ニハ此際特ニ日給十五日分以内ノ額ヲ賞與トシテ支給スルニトテ得但シ經費ハ大正三年臨時事件費受託造修費ノ支辨トス
大正六年十月三日
海軍大臣 加藤友三郎

○艦船所在

指定ヲ要セス

○十月三日午前十時調

横須賀 河内、八雲、津輕、橋立、千早、最上、松江、滿州、白霧、夕暮、夕立、三日月、夕霧、霞雲、陽炎、曙、山嵐、海風、櫻、橘、浦風、雄、鴻、白鷹、潛一三、潛一、關東、勞山、勝力、栗橋丸、長浦丸、館山、生駒、不知火、霧雲、大王崎、香羽

海軍公報第千五百二十八號

大正六年十月三日

六一九

大 濠 吹雪、有明
函 武藏
吳 磐手、淺間、攝津、鞍馬、伊吹、常磐、石見、富士、千歲、嚴島、彌生、疾風、追風、夕風、潛三、潛四、潛五、潛六、潛七、水六七、水六八、水七〇、水七一、椅子山丸、硯海丸、雁山丸、板橋丸
神 伊勢
德 山 扶桑、山城、安藝、薩摩、鹿島、香取、榛名、金剛、霧島、天津風、時津風、磯風、濱風、樺、桐、青島
門 第八多聞丸
佐 世保 比叡、利根、嵯峨、宇治、沖島、蒼鷹、燕、雁、鶴、猿橋丸
長 崎 日向、高崎
舞 鶴 三笠、見島、千鳥、真鶴、鶴、集、水七四、水七二、水七三、水七五、淀橋丸
鎮 海 村雨、朝霧
馬 公 秋津洲、白雲、朝潮
旅 順 千代田、鷲、雲雀、鶴、白銀丸
南洋群島 南開丸、以智丸

【香 港】 口時雨、春風、初春、初雪
【新嘉坡】 口矢矧、明石、響、初霜、神風

【マ ン】 新高
【フーセントル】 春日
【イモンスタレン】 對馬

【モルタ】 口出雲、口檜、柳
【坡 西 土】 口桂、楓、梅、楠

【アレキサンドリア】 柏、桃
【タラント】 檜
【ピロアス】 柳

【航海中】

▷筑摩、平戸(九月二十六日)「シドニー」發「スバ」へ)

須磨(九月二十七日)坡西土發亞丁へ)

口浦波、磯波、綾波(九月二十八日)大連發青島へ)

日進(九月三十日)新嘉坡發古倫母へ)

淀(九月三十日)新嘉坡發一尋堆へ)

口松、杉(九月三十日)「モルタ」發馬耳塞へ)

伏見(一日)漢口發上海へ)

膠州(一日)佐世保發馬公へ)

志自岐(一日)佐世保發「ラブアン」島へ)

隅田(一日)上海發南京へ)

大和(二日)大阪發粟島へ)

鹿見島丸(二日)横須賀發)

鳥羽(二日)漢口發宜昌へ)

口敷島、肥前、朝日、口阿蘇、口潮、子日、若葉、朝風、
口長月、菊月、水無月、卯月、口野分、松風、白雪、筱(二
日)別府發徳山へ)
口如月(二日)麻刺加發新嘉坡へ)
口吾妻(二日)徳山發吳へ)
若宮、口韓崎、駒橋、口潜一六、潜八、潜九、潜一五、
潜一七、口潜一一、潜一〇、潜一二(三日)別府發徳山
へ)
周防(三日)金田灣發横須賀へ)

○ 雜 款

○郵便物發送先
軍艦最上宛
十月四日迄ニ到着見込ノモノハ
其ノ後ハ
横須賀
佐世保

(秘 外 部)

海軍公報

第千五百二十九號

海軍大臣官房

大正六年十月四日(木)

○辭令

海軍中佐 中城 虎意
同 村瀬 貞次郎
海軍少佐 松本 嘉一郎
同 梅本 文鹿

潜水艇防禦用防材實驗委員ヲ命ス(請海軍省)

○艦船所在

△印△ハ△ホ△フ
指定ヲ要セス

○十月四日午前十時調

【横須賀】 河内、生駒、八雲、周防、津輕、橋立、千早、最上、松江、滿州、白霧、夕暮、夕立、三日月、
【夕霧】、霧雲、陽炎、曙、山嵐、海風、櫻、橘、不知火、浦雲、浦風、巨鷗、雄、白鷹、
【潛一三】、潛一、潛二、勢山、勝力、栗橋丸、長浦丸
【大王崎】、香初
【大湊】、吹雪、有明
【吳】、磐手、淺間、吾妻、攝津、鞍馬、伊吹

海軍公報第千五百二十九號

大正六年十月四日

六二二

【神】

常磐、石見、富士、大和、千歲、駿島、彌生、疾風、追風、夕風、潛三、潛四、潛五、潛六、潛七、水六七、水六八、水七〇、水七一、椅子山丸、硯海丸、歷山丸、板橋丸

【戸】

伊勢 山、扶桑、山城、安藝、薩摩、鹿島、香取

口榛名、金剛、霧島、敷島、肥前、朝日、若宮、天津風、時津風、磯風、濱風、巨樺、桐、阿蘇、

口湖、子日、若葉、朝風、長月、菊月、水無月、卯月、野分、松風、白雲、霞、韓崎、駒橋、

口潛一六、潛八、潛九、潛一五、潛一七、潛一一、潛一〇、潛一二、青島

【門】

第八多聞丸

【佐】

比叡、利根、嵯峨、宇治、沖島、蒼鷹、

【長】

燕、雁、鶴、猿橋丸

【舞】

日向 三笠、見島、千鳥、真鶴、鶴、隼、

【鎮】

口水七四、水七二、水七三、水七五、淀橋丸

【馬】

口村雨、朝霧

【旅】

秋津洲、白雲、朝潮、千代田、鷲、雲雀、綱、白銀丸

南洋群島 南開丸、以智丸

下 隅田

香港 長時雨、春風、初春、初雪

新嘉坡 矢矧、響、初霜、神風

新高 新高

春日 春日

對馬 對馬

出帆 桂、楓、梅、楠、櫻、柳

檜

ピロアス

航海中

筑摩、平戸(九月二十六日)「シドニ」發「スバ」

須磨(九月二十七日)西土發亞丁

浦波、磯波、綾波(九月二十八日)大連發青島

日進(九月三十日)新嘉坡發古倫母

淀(九月三十日)新嘉坡發一尋堆

松、杉(九月三十日)「モルタ」發馬耳塞

伏見(一日)漢口發上海

膠州(一日)佐世保發馬公

志自岐(一日)佐世保發「ラファン」島

柏、桃(一日)アレキサンドリア發「モルタ」

鹿兒島丸(二日)橫須賀發

鳥羽(二日)漢口發宜島

如月(二日)麻刺加發新嘉坡

武藏(三日)函館發橫須賀
關東(三日)橫須賀發
明石(三日)新嘉坡發香港
高崎(四日)長崎發橫須賀

(秘 外 部)

海軍公報

第千五百三十號

海軍大臣官房

大正六年十月五日(金)

○通 牒

官房第三〇〇四號
大正六年十月五日

海軍次官 朽内 會次郎

各鎮守府司令官殿

戰時雜役船ヲ以テ隊ヲ編成スル場合ニ於テ
其ノ職員及職務ニ關スル件

本件ニ關シ今般左ノ通第二特務艦隊司令官ニ訓令相成
候

右通牒ス

貴官指揮下ノ雜役船ヲ以テ隊ヲ編成スル場合ニ於テ
ハ其ノ職員及職務ニ就テハ特設艦船部隊令第四十八
條ヲ適用スル儀ト心得ヘシ

官房第三〇〇三號

大正六年十月五日

軍艦明石ト内地郵便局間ニ交換致居候閉塞郵便ハ今般
其ノ取扱ヲ廢止セラレ候

追テ右廢止後ノ同艦宛郵便物ハ當分ノ間「横須賀郵
便局留置」トシテ發送ノコト

海軍公報第千五百三十號

大正六年十月五日

大正六年十月五日

海軍省副官 大角 岑生

○艦船所在

指定ヲ要セス

○十月五日午前十時調

横須賀 河内、生駒、八雲、周防、津輕、橋立、

最上、松江、滿州、白露、夕暮、夕立、三日月、

夕霧、叢雲、陽炎、曙、朧、山嵐、海風、

櫻、橘、不知火、薄雲、浦風、巨鷲、雄、鴻、白鷹、

巨潜一三、潜一、潜二、勞山、勝力、栗橋丸、長浦丸

金田 千早

大王 音羽

大 湊 吹雪、有明

吳 磐手、淺間、吾妻、攝津、鞍馬、伊吹、

常磐、石見、富士、大和、千歲、嚴島、彌生、

疾風、追風、夕風、潜一二、潜三、潜四、潜五、

潜六、潜七、水六七、水六八、水七〇、水七一、

椅子山丸、硯海丸、雁山丸、板橋丸

戸 伊勢

山 扶桑、山城、安藝、薩摩、鹿島、香取

神 德

六二三

門 口榛名、金剛、霧島、敷島、肥前、朝日、若宮、
 天津風、時津風、磯風、濱風、巨樺、桐、阿蘇、
 朝日、子日、若葉、朝風、長月、菊月、水無月、
 卯月、野分、松風、白雪、靄、青島
 第八多聞丸
 島 韓崎、駒橋、潜一六、潜八、潜九、
 潜一五、潜一七、潜一一、潜一〇
 佐 世保、比叡、利根、嵯峨、宇治、沖島、蒼鷹、
 燕、雁、鶴、猿橋丸
 長 日向
 舞 鶴、三笠、見島、千鳥、真鶴、鶴、隼、
 水七五、水七二、水七三、水七四、淀橋丸
 鎮 水村雨、朝霧
 馬 公 秋津洲、白雲、朝潮
 旅 千代田、鷗、雲雀、鶴、白銀丸
 南洋群島 南開丸、以智丸
 下 隅田
 香 港 時雨、春風、初春、初雪
 新嘉坡 須磨、須磨
 亞 丁 春日
 對馬 對馬
 出雲、桂、梅、楠
 タラント 檜
 ビロテス 檜

航海中

筑摩、平戸(九月二十六日)「シドニー」發、スバ(へ)
 印浦波、磯波、綾波(九月二十八日)大連發青島(へ)
 日進(九月三十日)新嘉坡發古倫母(へ)
 淀(九月三十日)新嘉坡發一尋堆(へ)
 伏見(九月三十日)「モルタ」發馬耳塞(へ)
 伏見(一日)漢口發上海(へ)
 膠州(一日)佐世保發馬公(へ)
 志自岐(一日)佐世保發「ラプアン」島(へ)
 柏、桃(一日)アレキサンドリア「發」モルタ(へ)
 鹿兒島丸(二日)漢口發宜昌(へ)
 鳥羽(二日)漢口發宜昌(へ)
 如月(二日)麻刺加發新嘉坡(へ)
 武藏(三日)函館發橫須賀(へ)
 關東(三日)橫須賀發(へ)
 明石(三日)新嘉坡發香港(へ)
 樫、柳(三日)「モルタ」發「タラント」(へ)
 高崎(四日)長崎發橫須賀(へ)
 新高(四日)「マ」發古倫母(へ)

雜款

○旗艦變更
 第二水雷戰隊司令官入旗艦ヲ本月二日吾妻ヨリ二時霧
 島ニ變更セリ

○司令艇變更
第十一艇隊司令ハ本月一日司令艇ヲ第七十五號水雷艇
ニ變更セリ

○郵便物發送先
第二水雷戰隊司令部宛
軍艦 霧島
本日以後

○正誤
昨日辭令中海軍少佐梅本文鹿ハ梅田文鹿ノ誤

海軍公報第千五百三十號 大正六年十月五日

六二五

2110

(秘 外 部)

海軍公報

第千五百三十一號

海軍大臣官房

大正六年十月六日(土)

○令 達

官房機密第一七一九號

今般内令第二百二十五號ヲ以テ海軍無線電信通信規程ヲ制定シ^{改正}第一海軍無線電信通信規則ヲ廢止スルコトト相成候ニ付テハ新通信規程實施期日後舊通信規則ハ順序ヲ經テ海軍文庫ニ還納スル儀ト心得ヘシ

大正六年十月六日

海軍大臣 加藤友三郎

○通 牒

官房機密第一七二〇號

大正六年十月六日

海軍省副官 大角 岑生

各廳長殿

船橋海軍無線電信所利用ノ件

今般海軍無線電信通信規程ヲ制定實施セラレ同規程第三條ニヨリ有線電信ノ連絡ヲ有スル兩所間ノ通信ハ至急ヲ要スル場合ノ外無線電信ヲ使用セサルコトト相成候ニ付テハ大正四年十二月官房第四〇〇四號ニ依ル船

橋海軍無線電信所利用ノ件モ自然該條文ニ抵觸セサル範圍ニ於テセララル儀ト御承知相成度
右依命申進ス

官房第三〇二二號

大正六年十月六日

第二驅逐隊司令部及驅逐艦神風、初霜、如月、響ト内地郵便局間ニ交換致居候閉鎖郵便ハ今般其ノ取扱ヲ廢止セラレ候

追テ右廢止後ノ前記宛郵便物ハ當分ノ間「佐世保郵便局留置」トシテ發送ノコト

大正六年十月六日

海軍省副官 大角 岑生

○辭 令

海軍機關大佐 水谷 光太郎

臨時海軍軍事調査會委員ヲ命ス(對海軍省)

○艦 船 所 在

相定ヲ要セズ

○十月六日午前十時開

【横須賀】 河内、生駒、八雲、周防、津輕、橋立、千早、

海軍公報第千五百三十一號

大正六年十月六日

六二七

2111

松江、瀋州、白雲、夕暮、夕立、三日月、
松江、瀋州、白雲、夕暮、夕立、三日月、
松江、瀋州、白雲、夕暮、夕立、三日月、

大王 音羽命
大 吹雪、有明
吳 磐手、淺間、吾妻、攝津、鞍馬、伊吹、
常磐、石見、富士、大和、千歲、駿島、彌生、
疾風、追風、夕風、潛一、潛二、潛三、潛四、潛五、
潛六、潛七、水六七、水六八、水七〇、水七二、
椅子山丸、觀海丸、雁山丸、板橋丸

神 伊勢
德 青島
門 第八多聞丸
後世保 比叡、利根、嵯峨、宇治、沖島、蒼鷹、
蒼鷹、嶺、板橋丸
長 日向
舞 三笠、見島、真鶴、千鳥、鶴、集、
水七五、水七三、水七三、水七四、淀橋丸

馬 秋津洲、白雲、朝霧
公 千代田、白鷗、鷲、雲雀、鴉、白銀丸
南洋群島 南開丸、以智丸
下 隅田
香 港 時雨、春風、初春、初雪

新嘉坡 矢刺、變、初霜、神風
丁 須磨
不 筑摩
春日
對馬
出雲、桂、楓、梅、楠、柏、桃
檜
ピロアス

航海中
平戸(九月二十六日)「シドニー」發「スバ」へ)
浦波、磯波、綾波(九月二十八日)大連發青島へ)
日進(九月三十日)新嘉坡發古倫母へ)
淀(九月三十日)新嘉坡發一尋維へ)
伏見(一日)漢口發上海へ)
膠州(一日)佐世保發馬公へ)
志賀(一日)佐世保發「ラブアン」島へ)
鹿兒島丸(三日)橫須賀發「ボナ」へ)
鳥羽丸(三日)漢口發宜昌へ)
如月(二日)麻刺加發新嘉坡へ)
武藏(三日)函館發橫須賀へ)
關東(三日)橫須賀發
明石(三日)新嘉坡發香港へ)

2112

口橙、柳(三日)「モルタ」發、タラント(ハ)

高崎(四日)長崎發須賀(ハ)

新高(四日)「マ」發古倫母(ハ)

最上(五日)橫須賀發徳山(ハ)

口神崎、駒橋、口潜一六、潜八、潜九、潜一五、潜一七、

口扶桑、山城、安藝、薩摩、口鹿島、香取、口榛名、金剛、

口霧島、口敷島、肥前、朝日、若宮、口天津風、時津風、

磯風、濱風、口樺、桐、口阿蘇、口潮、口若葉、朝風、

口長月、菊月、水無月、卯月、口野分、松風、白雪、霧

(五日)徳山發有明灣(ハ)

勞山(五日)横須賀發吳(ハ)

○雜款

○司令艇變更

第十四艇隊司令ハ本月一日司令艇ヲ千鳥ヨリ眞鶴ニ變更セリ

○郵便物發送先

第二艦隊司令部、第二水雷戰隊司令部、榛名、金剛、霧島、

第一驅逐隊(天津風、時津風、磯風、濱風)、第十七驅逐隊

(樺、桐)宛

十月 八日迄ニ到達見込ノモノ 鹿兒島縣志布志

十月十六日同 鹿兒島

其ノ後ハ 佐世保

但シ電報ハ九日以後十二日迄ハ

第一潜水艇隊、硯海丸、歷山丸宛

自十月十日到着見込ノモノハ

至十月十六日

其ノ後ハ

古仁屋

神 戸
吳

海軍公報第千五百三十一號 大正六年十月六日

六二九

(秘 外 部)

海軍公報

第千五百三十二號

海軍大臣官房

大正六年十月八日(月)

○ 令 達

官房第三〇三八號

橫須賀海軍港務部保管

公稱第四二三號 艦載水雷艇(元軍艦號)

右雜役船(艀船兼交通船)ニ編入シ頭書ノ通公稱番號ヲ
附與シ海軍水雷學校附屬トス

大正六年十月八日

海軍大臣 加藤友三郎

○ 通 牒

官房第三〇三九號

大正六年十月八日

海軍次官 柄内會次郎

各廳長殿

新嘉坡經由官用電報取扱ニ關スル件

本件ニ關シテハ大正五年十二月官房第三七〇七號ヲ以
テ申進シ且當省副官ヨリモ數次注意方申進置候處今般
更ニ別紙ノ通外務大臣ヨリ申越ノ次第モ有之候條右ノ

主旨御承知ノ上處理相成様致度
右依命申進ス

(別紙)

政機密送第一〇四號

大正六年十月三日

外務大臣 法學博士子爵本野 一郎

海軍大臣加藤友三郎殿

新嘉坡經由官用電報取扱振ニ關スル件

本件ニ關シ在新嘉坡山崎領事ヨリ別紙寫ノ通稟申有之
候間委細右ニ就キ御承知ノ上同領事稟申通リ今後本邦
海軍諸官憲ヨリ同地方へ暗號又ハ日本語電報ヲ發送ス
ル場合ニ發信者又ハ受信者ノ氏名カ登錄氏名表ニ記載
無之トキハ必ス其ノ官職名ノ英譯ヲ認メ又在新嘉坡本
邦商人宛用向ノモノハ必ス同領事館又ハ同地駐在海軍
武官ヲ經由スル様御取計ヲ得度別紙相添へ此段及御照
會候也(別紙山崎領事稟申書ハ略ス)

參照 大正五年部外秘海軍公報第千二百九十五號

小演統第一號

海軍小演習關係書類取扱規定左ノ通定ム

海軍公報第千五百三十二號

大正六年十月八日

六三一

大正六年十月八日

海軍小演習統監部

海軍小演習關係書類取扱規定

海軍小演習統監部發布ノ小演習關係書類ハ「極秘」「秘」等ノ指定ノ有無ニ關セス左ノ通取扱フモノトス
一、「小演習機密」ノ番號アルモノハ「極秘」ヲ取扱トス
二、右以外ノ書類ハ「秘」ヲ取扱トス

小演習第三號

大正六年十月八日

海軍小演習統監部

海軍小演習審判官、同陪從、同統監附宛

旅費請求ニ關スル件

大正六年度海軍小演習ニ出張ノ右諸官旅費請求ハ統監部ニ於テ取扱ハス候條各其ノ所屬ノ廳ニ於テ夫々御處理相成度
右申進ス

○艦船所在

指定ヲ要セス

○十月八日午前十時調

【嶺須賀】 河内、生駒、八雲、周防、津輕、橋立、千早、松江、武藏、瀨州、白鷺、夕暮、夕立、三日月、
【夕霧】 叢雲、陽炎、曙、朧、山風、海風、櫻、橘、不知火、薄雲、浦風、鷗、雉、浪、白鷹、
【潛一三】 潛一、潛二、高崎、勝力、栗橋丸、長浦丸

大王	音羽	吹雪、有明
吳	磐手、淺間、吾妻、攝津、鞍馬、伊吹、常磐、石見、富士、大和、千歲、嚴島、彌生、疾風、追風、夕風、潛三、潛四、潛五、潛六、潛七、水六七、水六八、水七〇、水七一、椅子山丸、硯海丸、歷山丸、板橋丸	伊勢
神	最上	
德	比叡、利根、嵯峨、宇治、沖島、蒼鷹、燕、雁、鶴、猿橋丸	
佐	關東	
西	日向	
長	扶桑、山城、安藝、薩摩、鹿島、香取、榛名、金剛、霧島、敷島、肥前、朝日、若宮、天津風、時津風、磯風、濱風、樺、桐、阿蘇、潮、子日、若葉、朝風、長月、菊月、水無月、卯月、野分、松風、白雲、霞、韓崎、駒橋、潛一六、潛一八、潛一九、潛二五、潛二七、潛三一、潛一〇	
舞	三笠、見島、真鶴、千鳥、鶴、水七五、水七二、水七三、水七四、淀橋丸	
鎮	朝霧、村雨	
馬	秋津洲、白雲、朝潮	
公	膠州	
打		

【旅順】 千代田、白銀丸
 【大連】 千代田、白銀丸
 【南洋群島】 南開丸、以智丸
 【上海】 伏見
 【下關】 隅田
 【宜昌】 鳥羽
 【香港】 昌初
 【新加坡】 昌初、春風、初養、初雪
 【彼南】 淀
 【古倫母】 日進
 【スバン】 筑摩、平月
 【フイムント】 春日
 【モルタ】 對馬
 【コルンタ】 出雲
 【タラント】 桂、楓、梅、楠
 【ピロアス】 榎
 【ソイヤン】 杉、杉

柏、桃(五日)「モルタ」發馬耳塞()
 如月、柳(六日)「タラント」發「ミロ」()
 青島(六日)「新加坡」發柴棍()
 須磨(六日)「丁發古倫母」()
 浦波、磯波、綾波(六日)青島發佐世保()
 潜一二(七日)吳發有明灣()

○雜款
 ○司令驅逐艦變更
 第十八驅逐隊司令十月一日司令驅逐艦ヲ村雨ヨリ朝霧ニ變更セリ
 ○郵便物發送先
 第三艦隊司令部、第二水雷戰隊司令部、第四水雷戰隊司令部、敷島、肥前、朝日、阿蘇、若宮、薩崎、駒橋、第五、第七、第九驅逐隊、第三、第四潛水艇隊、艦隊航空隊
 十月十六日迄ニ到著見込ノモノハ 鹿兒島
 其ノ後ハ 佐世保
 但シ電報ハ九日以後十二日迄ハ古仁屋
 運送船青島宛
 十月十九日迄ニ到著見込ノモノハ 徳山
 同 二十日同 青島
 同 二十一日同 徳山
 同 二十二日同 青島
 同 二十三日同 徳山
 同 二十四日同 青島
 同 二十五日同 徳山
 同 二十六日同 青島
 同 二十七日同 徳山
 同 二十八日同 青島
 其ノ後ハ 横須賀留置

海軍公報第千五百三十二號 大正六年十月八日

六三三

○運送船青島行動豫定

地名	著	發
徳山	十月二十三日	十月二十日
青島	十月三十日	十一月二十七日
徳山	十一月六日	十一月三日
徳山	十一月十三日	十一月十日

○第八多聞丸行動豫定

地名	著	發
横濱	十月九日	十月九日
横須賀	十月十三日	十月十日
二見	十月十七日	十月十三日
サイパン	十月二十一	十月十八日
トラツク	十月二十九日	十月二十六日
サイパン	十一月二日	十一月二日
二見	十一月五日	十一月二日
横濱	十一月七日	十一月七日
横須賀	十一月七日	十一月七日

○南開丸行動豫定

地名	著	發
トラツク	十月二十一日	十月二十六日
ヤツブ	十月三十日	十一月三十一日
バラオ	十一月三日	十一月三日
アンガール	十一月三日	十一月三日

○以智丸行動豫定

地名	著	發
バラオ	同日	同日
ヤツブ	同日	同日
オレアイ	同日	同日
トラツク	同日	同日
サイパン	同日	同日
二見	同日	同日
横濱	同日	同日
横須賀	同日	同日

地名	著	發
トラツク	十月十三日	十月二十六日
ボナベ	十月二十八日	十月二十九日
シサイ	十一月三十一日	十一月三十一日
ヤルト	十一月二日	十一月四日
クサイ	十一月六日	十一月六日
ボナベ	十一月八日	十一月八日
トラツク	十一月十日	十一月八日
ロタ	十一月十三日	十一月十三日
二見	十一月十八日	十一月十三日
横濱	十一月二十一日	十一月十八日
横須賀	十一月二十二日	十一月二十二日

(秘 外 部)

海軍公報

第千五百三十三號

大正六年十月九日(火)

海軍大臣官房

○通 牒

官房第三〇五二號

第二特務艦隊司令官ノ指揮下ニ行動スル雜役船ヲ梅檀ト呼稱スル旨去月二十日附同官ヨリ報告アリタリ

大正六年十月九日

海軍省副官 大角 岑生

海人第七一號

大正六年十月九日

海軍省人事局長 岡田 啓介

各廳長殿

上長官士官身體検査ニ關スル件

配員上必要有之候ニ付此際士官以上ノ身體検査ヲ行ヒ別紙様式ニ依リ本月末日迄ニ到達スル様検査成績送附相成度

但シ海外勤務ノモノ及海軍軍醫アラサル地ニ勤務スルモノハ此儀ニ及ハス候右依命申進ス

海軍公報第千五百三十三號 大正六年十月九日

(様式)

身體検査成績

官 氏 名

職 色

視力 右 左

一、眼

二、耳

三、神經系病殊ニ神經衰弱、精神病ノ有無、嘗テ神經系病ニ罹リ引入療養セシモノハ其回数及症狀ノ概要

四、呼吸器病ノ有無及嘗テ該病ニ罹リタル者ニアリテハ其回数及症狀ノ概要

五、循環器病殊ニ血行器疾患ノ有無

六、榮養器ノ慢性疾患殊ニ痔瘻、脱肛等ノ有無

七、腎、膀胱等疾患ノ有無

八、運動器病殊ニ骨節等ノ機能障礙ノ有無

九、全身病殊ニ癩癧質疥、結核、糖尿病等ノ有無

一〇、其ノ他ノ主要ナル傷病ノ有無

一般所見 勤務ニ堪フル程度、急速治療ノ要否、其ノ他必要ト認ムル事項

年 月 日

何軍醫長 氏 名 印

六三五

2118

○艦船所在

▲印ニハホリノ
相定ア要セズ

○十月九日午前十時調

【横須賀】河内、生駒、八雲、周防、津輕、橋立、千早、

松江、武蔵、瀧州、白雲、夕暮、夕立、三日月、

夕霧、霧雲、陽炎、曙、龍、山風、海風、

櫻、橋、不知火、蒲雲、浦風、鷗、雉、鴻、白鷹、

潜一三、潜一、潜二、高崎、勝力、栗橋丸、長浦丸

【横濱】第八多聞丸

【大王崎】音羽

【淺】吹雪、有明

【吳】攝津、鞍馬、伊吹、常磐、石見、富士、

大和、千歲、嚴島、彌生、疾風、追風、夕風、

潜三、潜四、潜五、潜六、潜七、水六六、水六八、

水七〇、水七一、勞山、椅子山丸、硯海丸、

歷山丸、板橋丸

【江田島】磐手、淺間

【神戶】伊勢

【德島】最上

【佐世保】比叡、利根、嵯峨、宇治、沖島、蒼鷹、

燕、雁、鶴、猿橋丸

【西戶崎】關東

【長崎】日向

【志布志】扶桑、山城、安藝、薩摩、鹿島、香取、

日榛名、金剛、霧島、敷島、肥前、朝日、若宮、

【舞鶴】

天津風、時津風、磯風、濱風、樺、桐、阿蘇、

【鎮海】

水七五、水七二、水七三、水七四、淀橋丸、

【馬公】

朝霧、村雨

【打狗】

膠州

【旅順】

白銀丸

【柳樹屯】

千代田

【大連】

鷗、鷺、雲雀、鶴

【南洋群島】

南開丸、以智丸

【上海】

伏見

【下關】

隅田

【宜昌】

鳥羽

【新嘉坡】

矢矧、時雨、春風、初春、初雪

【彼南】

淀

【古倫母】

日進

【スバ】

筑摩、平戸

【モルタ】

對馬

【コルン】

出雲、桂、楓、梅、楠

タラント 檜
ピロアス 柳
ツイロン 杉

航海中

志自岐(一日佐世保發「ラブアン」島へ)
鹿兒島丸(二日横須賀發「ボナベ」へ)
明石(三日新嘉坡發香港へ)
新高(四日「マ」發古倫母へ)
柏、桃(五日「モルタ」發馬耳塞へ)
樺、柳(六日「タラント」發「ミロ」へ)
區如月、神風、響、初霜(六日新嘉坡發柴棍へ)
青島(六日徳山發青島へ)
須磨(六日亞丁發古倫母へ)
四浦波、磯波、綾波(六日青島發佐世保へ)
吾妻(八日吳發有明灣へ)

○ 雜款

○ 郵便物發送先
第一艦隊司令部、扶桑、山城、安藝、薩摩及第二戰隊司令
部、鹿島、香取宛
十月十六日迄ニ到達見込ノモノハ 鹿兒島
其ノ後ハ 佐世保
但シ電報ハ九日以後十二日迄ハ 古仁屋

練習艦隊司令部、整手、淺間宛
十月十五日迄ニ到達見込ノモノハ
十月二十一日間
其ノ後ハ
山口縣藤生
同 徳山
佐世保

海軍公報第千五百三十三號 大正六年十月九日

六三七

(外部ニ配付セズ)

海軍公報第千五百三十三號附錄

大正六年十月九日(火)

海軍大臣官房

本年八月中ニ於テ艦船從軍年始終期左ノ通

(海軍省軍務局)

年月日	地名	職名	先任	務年	歸月日	地名	着記	事
六、八、二九	日進	警備	那					
六、八、二七	見							
六、八、二九	田	支那	警備					大正六年八月二十九日 上海ニ於テ任務ニ就ク
六、八、二	佐世保							
六、八、二七	最上							
六、八、七	馬公	支那	警備					
六、八、九	基隆							一時寄港
六、八、一五	舞鶴							
六、八、二	佐世保							

戰役勤務
(一ヶ年加算)

海軍公報第千五百三十三號附錄

六、八、一	佐世保	戰地往復 (一ヶ年加算)	
一番驅逐艦			
六、八、三〇	佐世保 青島 警備		
浦波			
六、八、三〇	佐世保 青島 警備		
綾波			
六、八、三〇	佐世保 青島 警備		
磯波			
		大正六年八月二十日 戰地往復 (一ヶ年加算)	
須磨			
六、八、二九	支那 警備		
鳥羽			
六、八、二九	支那 警備		
伏見			
六、八、二九	支那 警備		
			大正六年八月二十九日 上海ニ於テ任務ニ就ク
			大正六年八月二十九日 上海ニ於テ任務ニ就ク

六、八、一		佐世保				戰地往復 (一ヶ年加算)				三番驅逐艦	
六、八、一		佐世保				戰地往復 (一ヶ年加算)				五番驅逐艦	
六、八、一		佐世保				戰地往復 (一ヶ年加算)				七番驅逐艦	
六、八、一		佐世保				戰地往復 (一ヶ年加算)				十一番驅逐艦	
六、八、一		佐世保				戰地往復 (一ヶ年加算)				青島	
六、八、一		德山		青島		警備		六、八、八		德山	
六、八、一		同		支那				六、八、二五		佐世保	
六、八、二六		同		上海						一時歸朝	
六、八、一		同		上海						一時歸朝	

海軍公報第五百三十三號附錄

2123

志自岐

六八、一九

佐世保

ボルネヲ

警

備

鹿兒島丸

六八、二三

横須賀

南洋

2124

(秘 外 部)

海軍公報

第千五百三十四號

大正六年十月十日(水)

海軍大臣官房

○令 達

官房機密第一七八號
大正六年度海軍小演習部隊ノ編成中第一戰隊後任司令
部附下士卒ハ横須賀鎮守府ヨリ第四戰隊司令部附下士
卒ハ吳鎮守府ヨリ之ヲ補充スル義ト心得ヘシ
大正六年十月十日

海軍大臣 加藤友三郎

官房第三〇六九號
本年度海軍小演習中艦隊航空隊ノ職員タル者ハ別ニ辭
令ヲ用キスシテ現職ノ儘第一航空隊ノ各其ノ相當ノ職
員ニ充テラレタルモノト心得ヘシ
大正六年十月十日

海軍大臣 加藤友三郎

○艦船所在

▲印ハハカ
△印ハハカ
△印ハハカ

○十月十日午前十時嗣

【横須賀】 河内、生駒、八雲、潮防、津輕、橋立、千早、
松江、武藏、瀧州、白龍、夕暮、夕立、三日月、

海軍公報第千五百三十四號

大正六年十月十日

六三九

- 大 王 崎 ▲ 音羽 ▲
- 大 湊 ▲ 吹雪、有明
- 吳 ▲ 攝津、鞍馬、伊吹、常磐、石見、富士、
大和、千歳、嚴島、彌生、疾風、追風、夕風、
潜三、潜四、潜五、潜六、潜七、水六七、水六八、
水七〇、水七一、勞山、椅子山丸、硯海丸、
歷山丸、板橋丸
- 江 田 島 ▲ 磐手、淺間
- 神 戶 ▲ 伊勢
- 佐 世 保 ▲ 比叡、利根、嵯峨、宇治、沖島、蒼鷹、
燕、融、鶴、猿橋丸
- 西 戶 崎 ▲ 關東
- 長 崎 ▲ 日向
- 鹿 兒 島 灣 ▲ 韓崎、駒橋、潜一六、潜八、潜九、
潜一五、潜一七、潜二一、潜二〇、潜二二、
三笠、見島、眞鶴、千鳥、鶴、筆、
水七五、水七三、水七三、水七四、淀橋丸

鐵	馬	打	旅	柳	青	南洋	上	下	宜	柴	新	古	ス	フ	モ	ミ	ニ	タ	ビ	ツ
海	公	狗	順	樹	島	群島	海	關	昌	棍	嘉	倫	母	ス	イ	ル	フ	ラ	ロ	ン
口朝霧、村雨	秋津洲、口白雲、朝潮	膠州	口鶴、鷺、雲雀、鴉、白銀丸	千代田	青島	南開丸、以智丸	伏見	隅田	鳥羽	口如月、初霜、神風、響	口矢矧、口時雨、春風、初春、初雪	口日進、新高	口平戸、筑摩	春日	對馬	口出雲	口櫻、柳	口桂、楓、梅、楠	楠	口松、杉、柏、桃

鹿兒島丸(二日横須賀發、ボナヘレ)
 明石(三日新嘉坡發香港)
 須磨(六日亞丁發古倫母)
 浦波(六日波、綾波(六日青島發佐世保))
 最上(九日德山發佐世保)
 口扶桑、山城、安藝、薩摩、口鹿島、香取、口榛名、金剛、
 口霧島、口敷島、肥前、朝日、若宮、吾妻、口天津風、
 口時津風、口磯風、口濱風、口樺、桐、口阿蘇、口潮子、
 若葉、朝風、口長月、菊月、水無月、卯月、口野分、松風、
 白雲、霞(九日志布志發奄美大島)
 泥(九日彼南發一尋堆)

○雜款

○旗艦變更
 第三特務艦隊司令官ハ十月九日旗艦ヲ筑摩ヨリ平戸ニ
 變更セリ

○郵便物發送先
 第十四驅逐隊、彌生、夕風、疾風、追風宛
 十月 十三日迄ニ到著見込ノモノハ 別府
 同 十六日同 殿島
 同 二十一日同 吳
 其ノ後ハ 佐世保

○正誤
 昨九日通牒欄海人第七一號本文中士官以上ハ上長官士
 官ノ誤、但シ書中海軍軍醫ノ下官ヲ脱ス

(終)

(秘 外 部)

海軍公報

第千五百三十五號

海軍大臣官房

大正六年十月十一日(木)

○通 牒

官房第三〇八八號

大正六年十月十一日

海軍次官 柄内曾次郎

關係各廳長殿

小演習關係職員ニ關スル件
本年度海軍小演習關係職員ハ來十月二十六日迄ニ各其ノ配屬艦船部隊ニ乘艦到著ノ儀ト御承知相成度
右依命申進ス

艦政需第一九五號

大正六年十月十一日

海軍省艦政局長 中野 直枝

關係各廳長殿

海軍製第二種煉炭ニ關スル件

本年三月官房第七二五號(海軍公報第一三三七號參照)
ニ據リ製造ノ海軍製第二種煉炭試驗成績ニ關シテハ當

海軍公報第千五百三十五號

大正六年十月十一日

六四一

時艦政需第八四號(海軍公報第一三三七〇號參照)ヲ以テ及通知置候處尙本年四月以降九月ニ至ル六ヶ月間ニ製造セル右第二種煉炭ニ就キ施行セル試驗成績左記ノ通ニ有之候
右爲參考通知ス
左記

第二種煉炭試驗分析成績表

六年十月

施行 年 月 ニ 付	試 験		分 析		成 績	
	蒸餾水 灰及ク カク カ ン カ ク ン	灰 カ ク ン	水 分 揮 發 分 固 定 灰 分 確 費 集 力	灰 分 確 費 集 力	灰 分 確 費 集 力	灰 分 確 費 集 力
四月	九三三	二五〇	一八二	二〇八	四四四	二八二
五月	九四八	二〇七	一三七	二二九	三三三	二五九
六月	九三八	二二四	一三六	二八九	三三三	二五九
七月	九三三	二五二	一九〇	二五六	四四一	二七二
八月	九六五	二四二	一四三	二六二	三三三	二五九
九月	九四九	二七九	一四三	二六二	三三三	二五九

平均	九月	八月	七月	六月
九四四二三六〇	九八〇二三六一 九六三三四九六 九四二二三七九	九三六二三一〇 九七四三三六一 九六三三四九六	九四六二三五五 九三九二三七二	九三二二三〇〇 九二六二三〇三 九一九二三六六
二四九	二八六 二八二 二一九	二〇〇 三一 二〇七	二五七 二五七	二二〇 二二〇
一五四二、九七六、九四四、四五三、〇六二、六〇八	一三三、三二〇、六〇七、七五七、〇	一五八三、八八六、三六、一五、八 一八〇三、〇五六、一五七、四、五八	〇九三、〇七五、六三、九三、四、四二、三六、九三〇	一六〇、三二七、六三、四〇、三、八三、一〇、六六、〇、八〇
一五四二、九七六、九四四、四五三、〇六二、六〇八	一三三、三二〇、六〇七、七五七、〇	一五八三、八八六、三六、一五、八 一八〇三、〇五六、一五七、四、五八	〇九三、〇七五、六三、九三、四、四二、三六、九三〇	一六〇、三二七、六三、四〇、三、八三、一〇、六六、〇、八〇

○ 辭令
海軍中佐 水野 廣徳

臨時海軍軍事調査會委員ヲ命ス(訪海軍省)

○ 艦船所在 相定ヲ要セズ

○ 十月十一日午前十時調

- 【横須賀】 河内、生駒、八雲、周防、津輕、橋立、千早、松江、武蔵、滿州、白峯、夕暮、夕立、三日月、夕霧、叢雲、陽炎、曙、朧、山嵐、海風、櫻、橘、不知火、清雲、浦風、江風、鷗、雄、鴻、白鷹、一三、一、潛一、一、潛二、高崎、勝力、第八多聞丸、栗橋丸、長浦丸
- 【大王崎】 音羽
- 【大湊】 吹雪、有明
- 【吳】 鞍馬、伊吹、常磐、石見、富士、大和、千歲、駿島、潛六、潛七、水六七、水六八、水七〇、水七一、椅子山丸、板橋丸
- 【藤生】 磐手、淺間
- 【神戶】 伊勢
- 【佐世保】 比叡、利根、沖島、最上、蒼鷹、燕、雁、嶺、猿橋丸
- 【有明灣】 若宮
- 【西戶崎】 關東
- 【長崎】 日向
- 【鹿兒島】 扶桑、山城、安藝、薩摩、鹿島、香取、口榛名、金剛、霧島、敷島、肥前、朝日、吾妻

天津風、時津風、磯風、濱風、巨樺、桐、阿蘇
 湖、子日、若葉、朝風、長月、菊月、水無月、
 卯月、野分松風、白雪、霞、韓崎、駒橋、
 潜一六、潜八、潜九、潜一五、潜一七、潜二一、
 潜一〇、潜一二
 舞 鶴 三笠、見島、真鶴、千鳥、鶴、隼、
 水七五、水七二、水七三、水七四、淀橋丸
 鎖 海 朝霧、村雨
 馬 公 秋津洲、白雲、朝潮
 旅 順 鶴、鷺、雲雀、鶉、白銀丸
 大 連 千代田
 青 島 青島
 南洋群島 南開丸、以智丸、鹿見島丸
 上 海 伏見
 下 關 隅田
 宜 昌 鳥羽
 香 港 明石
 新嘉坡 矢矧、時雨、春風、初春、初雪
 古倫母 日進、新高
 ス 平戸、筑摩
 フライント 春日
 ヴァイキング 對馬
 モルタ 出雲
 タラント 檜
 ビロアス 柳

ツロシ 松、杉、柏、桃

航海中

志自岐(一日佐世保發、ラブアン島)
 須磨(六日進丁發古倫母)
 浦波、磯波、綾波(六日青島發佐世保)
 淀(九日彼南發一尋堆)
 桂、楓(九日「コルフ」發馬耳塞)
 梅、楠(九日「コルフ」發「ピロアス」)
 櫻、柳(九日「コロ」發「コルフ」)
 潜三、潜四、潜五、硯海丸、歷山丸(十日吳發三原)
 勞山(十日吳發長崎)
 膠州(十日打狗發佐世保)
 如月、初霜、神風、響(十日柴棍發香港)
 嵯峨、宇治(十一日佐世保發港外)
 彌生、疾風、追風、夕風(十一日吳發別府)
 攝津(十一日玖波灣發吳)

○ 雜 款

○ 郵便物發送先
 軍艦富士宛
 十月十八日迄ニ到著見込ノモノハ 嚴島局
 其ノ後ハ 吳

海軍公報第千五百三十五號 大正六年十月十一日

六四三

(秘 外 部)

海軍公報第千五百三十五號附錄

大正六年十月十一日(木)

海軍大臣官房

大正六年度海軍小演習艦隊編制中千歲艦長被仰付
海軍大佐 石川 秀三郎

大正六年度海軍小演習艦隊編制中第二航空隊司令被仰付
海軍中佐 上田 吉次

大正六年度海軍小演習艦隊編制中第四戰隊參謀被仰付
同 宇川 濟

大正六年度海軍小演習艦隊編制中第一戰隊參謀被仰付
海軍少佐 中島 權吉

大正六年度海軍小演習艦隊編制中第二航空隊飛行機隊長被仰付
同 福岡 誠一

大正六年度海軍小演習中第二艦隊司令部附被仰付
同 鎮目 靜

大正六年度海軍小演習中第一艦隊司令部附被仰付
同 井上 桓征

大正六年度海軍小演習艦隊編制中第二航空隊附被仰付
海軍大尉 平松 駒太郎

大正六年度海軍小演習艦隊編制中第一戰隊參謀被仰付
同 山元 孝作

大正六年度海軍小演習艦隊編制中第四戰隊參謀被仰付
海軍大尉 堤 政夫

大正六年度海軍小演習中扶桑分隊長被仰付
同 戶蒔 隆始

大正六年度海軍小演習中山城分隊長被仰付
同 岩村 清一

大正六年度海軍小演習中第四潛水艇隊附被仰付
同 河村 文平

大正六年度海軍小演習中榛名分隊長被仰付
同 岸本 鹿子治

大正六年度海軍小演習中山城分隊長被仰付
同 鈴木 新治

大正六年度海軍小演習中霧島分隊長被仰付
同 園田 滋

大正六年度海軍小演習中比叡分隊長被仰付
同 桑折英三郎

大正六年度海軍小演習中津輕分隊長被仰付
同 田鎖恭一郎

海軍公報第千五百三十五號附錄

大正六年度海軍小演習中金剛分隊長被仰付 海軍大尉 小澤 治三郎
 大正六年度海軍小演習中櫻乘組被仰付 同 岩崎 大助
 大正六年度海軍小演習中霧島分隊長被仰付 同 福田 均三
 大正六年度海軍小演習中河內分隊長被仰付 同 山田 滿
 大正六年度海軍小演習中攝津分隊長被仰付 同 松木 益吉
 大正六年度海軍小演習中安藝分隊長被仰付 同 井上 幸吉
 大正六年度海軍小演習中河內分隊長被仰付 同 鋤柄 玉造
 大正六年度海軍小演習中第四潜水艇隊附被仰付 同 山口 利隆
 大正六年度海軍小演習中石見分隊長被仰付 同 青柳 宗重
 大正六年度海軍小演習中第三艦隊司令部附被仰付 同 武田 哲郎
 大正六年度海軍小演習中攝津分隊長被仰付 同 尾崎 篤郎
 大正六年度海軍小演習中橋乘組被仰付 同 境 澄信
 大正六年度海軍小演習中佐世保防備隊分隊長被仰付

大正六年度海軍小演習中阿蘇分隊長被仰付 海軍大尉 前澤 勲治
 大正六年度海軍小演習中疾風乘組被仰付 同 木幡 行
 大正六年度海軍小演習中追風乘組被仰付 同 加藤 仁太郎
 大正六年度海軍小演習中夕風乘組被仰付 同 樋口 修一郎
 大正六年度海軍小演習中第二航空隊附被仰付 同 馬越 喜七
 大正六年度海軍小演習中彌生乘組被仰付 同 杉山 六藏
 大正六年度海軍小演習中曙乘組被仰付 同 越智 孝平
 大正六年度海軍小演習中第二水雷戰隊司令部附被仰付 同 富田 貴一
 大正六年度海軍小演習中千歲分隊長被仰付 同 澤田 嘉瑞穂
 大正六年度海軍小演習中津輕分隊長被仰付 同 江島 鐵雄
 大正六年度海軍小演習中吾妻分隊長被仰付 同 副島 大助
 大正六年度海軍小演習中周防分隊長被仰付 同 土田 齊
 大正六年度海軍小演習中藍原 有孝

大正六年度海軍小演習中比叡分隊長被仰付 海軍大尉 増田 實
 大正六年度海軍小演習中千歳分隊長被仰付 同 伊藤 贖二
 (各通) 同 倉員 仁一郎
 同 藤原 利兵衛
 大正六年度海軍小演習中佐世保海共團分隊長被仰付 同 稻垣 生起
 大正六年度海軍小演習中第一艦隊司令部附被仰付 同 奥 信一
 大正六年度海軍小演習中第二艦隊司令部附被仰付 同 平岡 貞
 大正六年度海軍小演習中金剛分隊長被仰付 同 毛利 良
 (各通) 同 福田 良三
 大正六年度海軍小演習中第三潜水艇隊附被仰付 同 五藤 存知
 大正六年度海軍小演習中第三水雷戰隊司令部附被仰付 海軍中尉 白瀬 知
 大正六年度海軍小演習艦隊編制中第二航空隊附被仰付 同 別府 明朋
 大正六年度海軍小演習艦隊編制中第二航空隊分隊長心得被仰付 同 山口 三郎
 同 室井 留雄

(各通) 海軍中尉 淺田 滿晴留
 同 丹羽 正躬
 同 大西 瀧治郎
 同 今村 脩
 大正六年度海軍小演習艦隊編制中第二航空隊附被仰付 同 加藤 成禮
 (各通) 同 吉良 俊一
 大正六年度海軍小演習艦隊編制中第一航空隊附被仰付 同 山内 三郎
 (各通) 同 荒木 保
 同 千田 貞敏
 大正六年度海軍小演習艦隊編制中第二航空隊附被仰付 同 村上 房三
 大正六年度海軍小演習中扶桑乘組被仰付 同 小西 千比古
 大正六年度海軍小演習中敷島乘組被仰付 同 中島 省三郎
 大正六年度海軍小演習中榛名乘組被仰付 同 前田 稔
 大正六年度海軍小演習中阿蘇乘組被仰付 同 中原 義正
 大正六年度海軍小演習中山城乘組被仰付 同 酒卷 宗孝
 大正六年度海軍小演習中鹿島乘組被仰付 同 納富 貞市

海軍公報第五百三十五號附錄

三

大正六年度海軍小演習中朝日乘組被仰付	海軍中尉 德永 榮	大正六年度海軍小演習中宇治乘組被仰付	海軍中尉 西尾 秀彦
大正六年度海軍小演習中安藝乘組被仰付	同 草刈 英治	大正六年度海軍小演習中扶桑乘組被仰付	同 杉本 道雄
大正六年度海軍小演習中吾妻乘組被仰付	同 一瀬 信一	大正六年度海軍小演習中比叡乘組被仰付	同 原 鼎三
大正六年度海軍小演習中肥前乘組被仰付	同 山崎 重輝	大正六年度海軍小演習中山城乘組被仰付	同 本間 頼三
大正六年度海軍小演習中比叡乘組被仰付	同 峰松 寧夫	大正六年度海軍小演習中榛名乘組被仰付	同 芝崎 葆祿
大正六年度海軍小演習中薩摩乘組被仰付	同 榑原 正木	大正六年度海軍小演習中安藝乘組被仰付	同 伊藤 三郎
大正六年度海軍小演習中香取乘組被仰付	同 伊藤 賢三	大正六年度海軍小演習中鹿島乘組被仰付	同 留岡 勲
大正六年度海軍小演習中河内乘組被仰付	同 藤井 清輔	大正六年度海軍小演習中河内乘組被仰付	同 大杉 守一
大正六年度海軍小演習中金剛乘組被仰付	同 加藤 尙雄	大正六年度海軍小演習中比叡乘組被仰付	同 星野 應韶
大正六年度海軍小演習中生駒乘組被仰付	同 保科 善四郎	大正六年度海軍小演習中攝津乘組被仰付	同 沙崎 進
大正六年度海軍小演習中攝津乘組被仰付	同 楠本 權一郎	大正六年度海軍小演習中香取乘組被仰付	同 中島 武
大正六年度海軍小演習中霧島乘組被仰付	同 澤田 虎夫	大正六年度海軍小演習中高間乘組被仰付	同 高間 完
大正六年度海軍小演習中石見乘組被仰付		大正六年度海軍小演習中石見乘組被仰付	同 橋本 新太郎

大正六年度海軍小演習中金剛乘組被仰付
海軍中尉 山縣 豪介

大正六年度海軍小演習中攝津乘組被仰付
同 松野 象三

大正六年度海軍小演習中霧島乘組被仰付
同 吉利 貞

大正六年度海軍小演習中河内乘組被仰付
同 市丸 利之助

大正六年度海軍小演習中比叡乘組被仰付
同 原田 覺

大正六年度海軍小演習中安藝乘組被仰付
同 古宇田 武郎

大正六年度海軍小演習中山城乘組被仰付
同 柴田 瀧三郎

大正六年度海軍小演習中霧島乘組被仰付
同 園田 昇

大正六年度海軍小演習中扶桑乘組被仰付
同 鈴木 豊次郎

大正六年度海軍小演習中石見乘組被仰付
同 高柳 儀八

大正六年度海軍小演習中金剛乘組被仰付
同 石橋 善吾

大正六年度海軍小演習中攝津乘組被仰付
同 平野 六三

大正六年度海軍小演習中河内乘組被仰付

大正六年度海軍小演習中薩摩乘組被仰付
海軍中尉 圓山 英勅

大正六年度海軍小演習中扶桑乘組被仰付
同 秋山 輝男

大正六年度海軍小演習中霧島乘組被仰付
同 三宅 二郎

大正六年度海軍小演習中比叡乘組被仰付
同 木暮 軍治

大正六年度海軍小演習中阿蘇乘組被仰付
同 久宗 米次郎

大正六年度海軍小演習中鹿島乘組被仰付
同 福澤 常吉

大正六年度海軍小演習中比叡乘組被仰付
同 門脇 盛吾

大正六年度海軍小演習中山城乘組被仰付
同 粟屋 眞

大正六年度海軍小演習中朝日乘組被仰付
同 山口 榮三郎

大正六年度海軍小演習中香取乘組被仰付
同 白井 孝次

大正六年度海軍小演習中安藝乘組被仰付
同 長野 巖

大正六年度海軍小演習中金剛乘組被仰付
同 上野 敬三

大正六年度海軍小演習中河内乘組被仰付
同 山下 宗治

大正六年度海軍小演習中肥前乘組被仰付	海軍中尉 岩瀬 正巳	大正六年度海軍小演習中榛名乘組被仰付	海軍中尉 二村 嘉八
大正六年度海軍小演習中霧島乘組被仰付	同 道野 清	大正六年度海軍小演習中河内乘組被仰付	同 中山 友藏
大正六年度海軍小演習中薩摩乘組被仰付	同 垂水 八五郎	大正六年度海軍小演習中敷島乘組被仰付	同 中比良義太郎
(各通)	同 新貝 恒雄	大正六年度海軍小演習中薩摩乘組被仰付	同 國分 正三
大正六年度海軍小演習中比叡乘組被仰付	同 竹内 平七	大正六年度海軍小演習中鹿島乘組被仰付	同 小倉 外吉
大正六年度海軍小演習中河内乘組被仰付	同 市村 茂松	大正六年度海軍小演習中朝日乘組被仰付	同 宮坂 市郎
大正六年度海軍小演習中比叡乘組被仰付	同 青木 泰二郎	大正六年度海軍小演習中攝津乘組被仰付	同 佐藤 俊美
大正六年度海軍小演習中攝津乘組被仰付	同 石井 靖彦	大正六年度海軍小演習中石見乘組被仰付	同 小早川 準三
大正六年度海軍小演習中比叡乘組被仰付	同 岩下 颯	大正六年度海軍小演習中千歳乘組被仰付	同 木村 昌福
大正六年度海軍小演習中石見乘組被仰付	同 堀 勇五郎	大正六年度海軍小演習中安藝乘組被仰付	同 鈴木 虎男
大正六年度海軍小演習中香取乘組被仰付	同 米澤 市太郎	大正六年度海軍小演習中山城乘組被仰付	同 小澤 真樹
大正六年度海軍小演習中扶桑乘組被仰付	同 山下 二郎	大正六年度海軍小演習中吾妻乘組被仰付	同 星野 慶幸
大正六年度海軍小演習中攝津乘組被仰付	同 小野 源吉	大正六年度海軍小演習中山城乘組被仰付	

大正六年度海軍小演習中比叡乘組被仰付	海軍中尉 藤井音四郎	大正六年度海軍小演習中比叡乘組被仰付	海軍機關大尉 櫻井忠武
大正六年度海軍小演習中扶桑乘組被仰付	同 岡部文太郎	大正六年度海軍小演習中比叡分隊長被仰付	同 茂木德治
大正六年度海軍小演習中河內乘組被仰付	同 岡 恒夫	大正六年度海軍小演習中第二航空隊分隊長被仰付	同 齋藤一治
大正六年度海軍小演習中河內分隊長被仰付	海軍機關大尉 兼田市郎	大正六年度海軍小演習中第二航空隊附被仰付	同 正田十吉
大正六年度海軍小演習中生駒分隊長被仰付	同 吉田信一	大正六年度海軍小演習中薩摩乘組被仰付	同 松下梅一
大正六年度海軍小演習中千歲分隊長被仰付	同 岩本清藏	大正六年度海軍小演習中第二航空隊附被仰付	同 城戸正彦
大正六年度海軍小演習中榛名分隊長被仰付	同 鳥田敬之	大正六年度海軍小演習中勝力乘組被仰付	同 平田周二
大正六年度海軍小演習中比叡分隊長被仰付	同 澁谷隆太郎	大正六年度海軍小演習中早乘組被仰付	同 岩淵源吾
大正六年度海軍小演習中霧島分隊長被仰付	同 横山善助	大正六年度海軍小演習中兼追風乘組被免	同 兎玉久
大正六年度海軍小演習中攝津分隊長被仰付	同 石井常次郎	大正六年度海軍小演習中攝津乘組被仰付	同 高橋鍊太郎
大正六年度海軍小演習中河內分隊長被仰付	同 野村將三	大正六年度海軍小演習中河內乘組被仰付	同 佐々木一馬
大正六年度海軍小演習中石見分隊長被仰付	同 幸山作		
	同 上原惠道		

海軍公報第五百三十五號附錄

七

海軍機關中尉 阿久津 國作
 大正六年度海軍小演習艦隊編制中津輕乘組被仰付
 同 山下 茂治
 大正六年度海軍小演習艦隊編制中攝津乘組被仰付
 同 須藤 叔省
 大正六年度海軍小演習艦隊編制中追風乘組被仰付
 同 木邑 清
 大正六年度海軍小演習艦隊編制中石見乘組被仰付
 同 堀越 喜邦
 大正六年度海軍小演習艦隊編制中榛名乘組被仰付
 同 野呂 武雄
 大正六年度海軍小演習艦隊編制中石見乘組被仰付
 同 成富 三平
 大正六年度海軍小演習艦隊編制中比叡乘組被仰付
 同 福田 秀穂
 大正六年度海軍小演習艦隊編制中山城乘組被仰付
 同 細谷 信三郎
 大正六年度海軍小演習艦隊編制中千歲乘組被仰付
 同 小林 義治
 大正六年度海軍小演習艦隊編制中生駒乘組被仰付
 同 永松 勝
 大正六年度海軍小演習艦隊編制中千歲乘組被仰付
 同 加藤 繁次
 大正六年度海軍小演習艦隊編制中比叡乘組被仰付
 同 美原 泰三

大正六年度海軍小演習艦隊編制中霧島乘組被仰付
 海軍機關中尉 島本 万太郎
 大正六年度海軍小演習艦隊編制中比叡乘組被仰付
 同 川添 清一
 大正六年度海軍小演習艦隊編制中金剛乘組被仰付
 同 原 新造
 大正六年度海軍小演習艦隊編制中安藝乘組被仰付
 同 山本 晴雄
 大正六年度海軍小演習艦隊編制中河内乘組被仰付
 同 田尻 福男
 大正六年度海軍小演習艦隊編制中扶桑乘組被仰付
 海軍屬 小澤 義隆
 海軍書記 波邊 竹三郎
 同 齋藤 哲太郎
 海軍技手 成神 誠
 大正六年度海軍小演習統監隨從ヲ命ス(以上皆海軍省)
 (各通)

(秘 外 部)

海軍公報

第千五百三十六號

大正六年十月十二日(金)

海軍大臣官房

○令 達

官房機密第一七五二號
本年度海軍小演習ノ爲編成セラルヘキ各艦隊及戰隊司令
部用兵備品ハ第四戰隊及第一戰隊後任司令部用ノモ
ノハ佐世保鎮守府ニ於テ之ヲ供給シ其ノ他ノモノハ當
該司令部タルヘキ各艦隊及戰隊司令部用ノモノヲ使用
スル儀ト心得ヘシ

大正六年十月十二日

海軍大臣 加藤友三郎

官房機密第一七五三號
本年度海軍小演習ノ爲新ニ編成セラルヘキ第一、第四
戰隊司令部及特設望樓ニ要スル艦營需品備品ハ貸與、
消耗品ハ主管別豫算外供給トス

大正六年十月十二日

海軍大臣 加藤友三郎

○通 牒

小演習第四號
大正六年十月十二日

海軍小演習統監部

海軍公報第千五百三十六號 大正六年十月十二日

六四五

海軍小演習審判官、審判官陪從殿

兵要圖及軍機圖書ニ關スル件

小演習中審判官及審判官陪從ニ於テ要スル圖書類ニ關
シテハ左ノ通御承知相成度

- 一、兵 要 圖 統營部ニテ特製配付ス
- 二、軍機圖書類 各自勤務應供用ノモノヲ準備スル

コト

右申進ス

○艦 船 所 在

▲印(ハ、ホ、ニ)ノ
指定ヲ要セズ

○十月十二日午前十時調

横須賀 河内、生駒、八雲、周防、津輕、橋立、

松江、武蔵、滿州、白霧、夕暮、夕立、三日月、

夕霧、叢雲、陽炎、曙、龍、山風、海風、

櫻、橘、不知火、薄雲、浦風、江風、鷗、雄、鴻、

白鷹、潜一三、潜一、潜二、高崎、勝力、

第八多聞丸、栗橋丸、長浦丸

大王崎 音羽

大 湊 吹雪、有明

大 吳 攝津、鞍馬、伊吹、常磐、石見、富士

【香宜】 昌湖 明石	【燕】 伏見	【上】 伏見	【南洋群島】 南開丸、以智丸、鹿兒島丸	【旅順】 千代田、巨鷲、鷲、雲雀、鷗、白銀丸	【馬公】 秋津洲、巨白雲、朝潮	【鎮海】 巨朝霧、村雨	【舞鶴】 三笠、見島、巨真鶴、千鳥、鶴、隼	【鹿兒島】 巨扶桑、山城、安藝、薩摩、巨鹿島、香取、 巨樺名、金剛、巨霧島、巨敷島、肥前、朝日、吾妻、 巨天津風、時津風、磯風、濱風、巨樺、桐、巨阿蘇、 巨朝子、若葉、朝風、巨長月、菊月、水無月、 巨野分、松風、白雪、霞、巨韓崎、駒橋、 巨一〇、巨八、巨九、巨一五、巨一七、巨一、 巨二	【長崎】 日向、勞山	【西戶崎】 關東	【有明灣】 若宮	【佐世保】 燕、胎、鶴、猿橋丸	【神戶】 伊勢	【薩生】 伊勢	【大和、千歲、駿島、潛六、潛七、巨水六七、水六八、水七〇、水七一、椅子山丸、板橋丸】 巨磐手、淺間
【航海中】 須磨(六日)亞丁發古倫母() 浦波(九日)彼南發一尋堆() 淀(九日)彼南發一尋堆() 梅、楠(九日)コルフ發馬耳塞() 柳(九日)ミロ發コルフ() 膠州(十日)打狗發佐世保() 宇治(十一日)佐世保發港外() 初春(十一日)新嘉坡發一尋堆() 平戶(十一日)スバ發メルボルン() 日進(十一日)古倫母發亞丁() 青島(十二日)青島發德山() 千早(十二日)橫須賀發東京灣() 彌生(疾風、追風、夕風)十二日別府發宿毛()	【ラプアン】 志目岐	【新嘉坡】 新高	【古倫母】 筑摩	【スバ】 春日	【メルタ】 對馬	【モルタ】 出雲	【タラント】 檜	【ピロアス】 榑	【ツロン】 巨松、杉、柏、桃						

(秘 外 部)

海軍公報第千五百三十六號附錄

懲罰言渡書

海軍公報第千五百三十六號附錄

大正六年十月十二日(金)

海軍大臣官房

2140

(秘 外 部)

海軍公報

第千五百三十七號

大正六年十月十三日(土)

海軍大臣官房

○令 達

官房第三二〇二號
 明治四十三年十二月官房第四四七六號艦營需品石炭ノ
 品種及供用區別申左ノ通改正ス
 大正六年十月十三日
 海軍大臣 加藤友三郎

供用區別

第一種 炭	和炭	(イ) 艦隊教育規則第七十二條ニ依リ施行スル焚火術給 炭術競技用トシテ必要ノ場合 (ハ) 艦隊教育規則第七十二條ニ依リ施行スル焚火術給 炭術競技用トシテ必要ノ場合 *工業用トシテ必要ノ場合
	煉炭	(イ) 艦隊教育規則第七十二條ニ依リ施行スル焚火術給 炭術競技用トシテ必要ノ場合 (ロ) 艦隊教育規則第七十二條ニ依リ施行スル焚火術給 炭術競技用トシテ必要ノ場合 *工業用トシテ必要ノ場合
第二種 炭	和炭	(イ) 艦隊教育規則第七十二條ニ依リ施行スル焚火術給 炭術競技用トシテ必要ノ場合 (ハ) 艦隊教育規則第七十二條ニ依リ施行スル焚火術給 炭術競技用トシテ必要ノ場合 *工業用トシテ必要ノ場合
第三種 炭	和炭	(イ) 艦隊教育規則第七十二條ニ依リ施行スル焚火術給 炭術競技用トシテ必要ノ場合 (ハ) 艦隊教育規則第七十二條ニ依リ施行スル焚火術給 炭術競技用トシテ必要ノ場合 *工業用トシテ必要ノ場合

○辭 令

(各通)
 海軍少佐 吉川 眞清
 海軍大尉 佐藤 市郎
 海軍大尉 蜂谷 信太郎
 海軍機關大佐 栗田 富太郎
 海軍機關中佐 山下 魏八郎
 大正六年度海軍小演習艦隊編制中第六戰隊參謀被仰付
 大正六年度海軍小演習艦隊編制中第六戰隊司令部附被仰付
 大正六年度海軍小演習艦隊編制中第四戰隊機關長被仰付(以上訂正海軍省)

○艦 船 所 在

指定ヲ要セス

海軍公報第千五百三十七號 大正六年十月十三日

六四七

○十月十三日午前十時

廣須賀 河内、生駒、八雲、周防、津輕、橋立、千早、

松江、武藏、滿州、白路、夕暮、夕立、三日月、

夕霧、濃雲、陽炎、隔、山風、海風、

櫻、橋、不知火、薄雲、浦風、江風、口、燭、燧、鴻、

白鷺、三、一、二、高崎、勝力、

栗橋丸、長浦丸、

大王 埼 管羽

大 濠 吹雪、有明

吳 攝津、鞍馬、伊吹、常磐、石見、大和、

千歲、駿島、潜六、潜七、水六六、水六八、

水七〇、水七一、椅子山丸、板橋丸、

廣島 富士

藤 生 磐手、淺間

神 戸 潜三、潜四、潜五、硯海丸、雁山丸、

宿 毛 彌生、疾風、追風、夕風

佐 世 保 比叡、利根、沖島、最上、嵯峨、宇治、

三、蒼鷹、雁、鶴、猿橋丸

西 戸 崎 關東

長 崎 日向、勞山

鹿 兒 島 扶桑、山城、安藝、薩摩、鹿島、香取、

天津風、時津風、磯風、濱風、口、樺、桐、阿蘇

潮、子日、若葉、朝風、長月、菊月、水無月、

卯月、野分、松風、白雲、霞、樟崎、駒橋、

潜一六、潜八、潜九、潜一五、潜一七、潜二一、

潜一〇、潜一二、

三笠、見島、真鶴、千鳥、鶴、集、

水七五、水七三、水七三、水七四、淀橋丸、

朝霧、村雨、

秋津洲、白雲、朝潮

千代田、鷲、雲雀、鶴、白銀丸

南開丸、以智丸、鹿兒島丸

伏見

鳥羽

明石

矢矧、時雨、春風

新高

筑摩

春日

對馬

出雲

檜

櫻、柳

梅、楠、榊

松、杉、柏、桃

航海中

須磨(六日)亞丁發(倫敦へ)

浦波、磯波、綾波(六日)青島發(佐世保へ)

淀(九日彼南發一尋堆へ)
 桂、楓(九日「コルフ」發馬耳塞へ)
 膠州(十日打狗發佐世保へ)
 如月、初霜、神風、響(十日柴棍發香港へ)
 初春、初雪(十一日新嘉坡發一尋堆へ)
 平戸(十一日「スバ」發「メルボルン」へ)
 日進(十一日古倫母發亞丁へ)
 第八多聞丸(十一日横須賀發二見へ)
 青島(十二日青島發徳山へ)
 志自岐(十二日「ラプアン」島發「ヨリ」へ)
 隅田(十二日蕪湖發九江へ)
 若宮(十三日有明灣發奄美大島へ)
 伊勢(十三日和歌浦發)

○雜款

○正誤
 本月十一日附錄七頁海軍機關大尉兼田市郎ヨリ八頁海軍機關中尉田尻彌男ニ至ル三十五名(茂木徳治、正田十吉、城戸正彦、兒玉久ノ四名ヲ除ク)ノ辭令文中「艦隊編制」ノ四字ハ衍

(秘 外 部)

海軍公報

第千五百三十八號

海軍大臣官房

大正六年十月十五日(月)

○ 通 牒

小演習第一號ノ二
小演習第一號海軍小演習關係書類取扱規定ニ左ノ通追
加ス

大正六年十月十五日

海軍小演習統監部

海軍小演習關係書類取扱規定追加

二、ノ次ニ左ノ通追加ス

右書類ハ特ニ指定アルモノノ外小演習終結後一箇月
以內ニ軍令部副官ニ返納スルモノトス

但シ返納書類目錄ノ添付ヲ要ス

(注意 十月八日海軍公報参照)

○ 辭 令

海軍大尉 小澤 治三郎

大正六年度海軍小演習中樞乘組被仰付置候處被免第二

水雷戰隊司令部附被仰付

同 尾崎 篤郎

大正六年度海軍小演習中樞乘組被仰付置候處被免第三

水雷戰隊司令部附被仰付

大正六年度海軍小演習中阿蘇分隊長被仰付置候處被免
同 前澤 弼治
海軍中尉 酒井 茂吉

大正六年度海軍小演習中第一戰隊司令部附被仰付
同 金子 豊吉

大正六年度海軍小演習中第四戰隊司令部附被仰付
同 岡村 政夫

大正六年度海軍小演習中阿蘇分隊長心得被仰付
同 鵜池 六藏

大正六年度海軍小演習中第六戰隊司令部附被仰付
同 佐々木 清恭

大正六年度海軍小演習中第二艦隊司令部附被仰付
同 奥本 武夫

大正六年度海軍小演習中第三艦隊司令部附被仰付
同 大井 吉郎

大正六年度海軍小演習中第二戰隊司令部附被仰付
海軍機關少佐 山下 誠一

兵資調査會委員ヲ命ス
海軍機關中尉 松下 梅一

大正六年度海軍小演習中薩摩乘組被仰付置候處被免
同 野呂 武雄

海軍公報第千五百三十八號

大正六年十月十五日

六五二

大正六年度海軍小演習中石見乘組被仰付置候處被免薩
摩乘組被仰付(以上詳海軍省)

○艦船所在

相定ノ要セス

○十月十五日前十時調

横須賀 河内、生駒、八雲、周防、津輕、橋立、千早、
 松江、武藏、滿州、白鷺、夕暮、夕立、三日月、
 夕霧、環雲、陽炎、晴、龍、山嵐、海風、
 櫻、橘、不知火、薄雲、浦風、江風、江鷗、雄、頭、
 白鷹、巨潜一三、潜一、潜二、高崎、勝力、
 栗橋丸、長浦丸、
 大玉 埼 香羽、
 大 澆 巨吹雪、有明、
 吳 攝津、鞍馬、伊吹、常磐、石見、大和、
 千歲、殿島、彌生、疾風、追風、夕風、潜六、
 潜七、椅子山丸、板橋丸、
 廣島 富士、
 生 磐手、淺間、
 神 伊勢、
 佐世保 比叡、利根、沖島、最上、嵯峨、宇治、
 巨浦波、磯波、綾波、蒼鷹、燕、鷹、鶴、勢山、
 猿橋丸、
 長崎 日向、
 鹿兒島 日向、駒橋、巨潜一六、潜八、潜九、

潜一五、潜一七、巨潜二一、潜二〇、潜二二、
 巨仁屋、巨扶桑、山城、安藝、薩摩、巨鹿島、香取、
 巨樹名、金剛、霧島、巨敷島、肥前、朝日、若宮、
 巨吾妻、巨天津風、時津風、磯風、濱風、巨樺、桐、
 巨阿蘇、巨潮、子日、若葉、朝風、巨長月、菊月、
 水無月、卯月、
 舞 鶴 三笠、見島、巨真鶴、千鳥、鶴、筆、
 巨水七五、水七二、水七三、水七四、淀橋丸、
 鎮 海 巨朝霧、村雨、
 馬 公 巨白雲、朝潮、
 旅 順 千代田、巨鶴、鷲、雲雀、鯛、白銀丸、
 南洋群島 以智丸、鹿兒島丸、
 上 海 伏見、
 九 江 隅田、
 宜 昌 鳥羽、
 香 港 明石、巨如月、初霜、神風、響、
 新嘉坡 巨矢矧、淀、巨時雨、春風、
 ス 筑摩、
 春 日 對風、
 タ 出雲、
 タ 檜、
 タ 梅、楠、柳、
 タ 桂、樺、巨松、杉、柏、桃、

航海中

須磨(六日)亞丁發古倫母()
 膠州(十日)打狗發佐世保()
 初春、初雪(十二日)新嘉坡發一尋堆()
 △平戶(十二日)「スバ」發「メルボルン」()
 日進(十一日)古倫母發亞丁()
 第八多聞丸(十一日)橫須賀發二見()
 青島(十二日)青島發德山()
 志自岐(十二日)「ラフアン」發「マリ」()
 △檜、柳(十二日)「コルフ」發「タラント」()
 關東(十三日)西戶崎發橫須賀()
 新高(十三日)古倫母發彼南()
 秋津洲(十三日)馬公發馬尾()
 △野分、松風、白雪、叢(十三日)鹿兒島發佐世保()
 南開丸(十四日)「トラック」發内地()
 △潛三、潛四、潛五、硯海丸、雁山丸(十五日)神戶發高松
 △水六七、水六八、水七〇、水七一(十五日)高松發大阪
 ()

○雜款

○旗艦變更
 第二水雷戰隊司令官旗艦ヲ本月九日霧島ヨリ吾妻ニ變
 更セリ

○郵便物發送先

第八驅逐隊(夕霧、霞雲、陽炎、曙、隴)宛
 十月十七日迄到達見込ノモノハ 神奈川縣 田 浦
 其ノ後ハ 佐世保
 第一艇隊(第六十七、六十八、七十、七十二號水雷艇)宛
 十月十六日迄到達見込ノモノハ 大 阪川 田
 其ノ後ハ 吳留置

海軍公報第千五百三十八號 大正六年十月十五日

六五三

(秘 外 部)

海軍公報

第千五百三十九號

海軍大臣官房

大正六年十月十六日(火)

○通 牒

官房第三一四二號

大正六年十月十六日

海軍次官 枋内 會次郎

關係各廳長殿

無線電信用紙ニ關スル件
今般改正相成タル海軍無線電信送受信用紙第一表及第三表ハ現在品ノアル限り從來ノモノヲ適宜訂正使用シ得ル儀ト御承知相成度
右依命申進ス

官房第三一四三號

第二特務艦隊司令官ノ指揮下ニ行動スル雜役船ヲ檣樓ト呼稱スル旨本月十二日附同官ヨリ報告アリタリ

大正六年十月十六日

海軍省副官 大角 岑生

小演統第七號

大正六年十月十六日

海軍小演習統監部

海軍公報第千五百三十九號 大正六年十月十六日

一、島村海軍小演習統監出張豫定左ノ通

(イ)東京發 十月二十五日午前

佐世保著 十月二十六日午後

滿州乘艦 十月二十七日早朝

(ロ)訪問、伺候ノ如キ公式ノ儀禮ニ關スル事項ハ總

テ演習開始後ニ於テ行フ

二、本年度小演習作業中從來ノモノト異ナル點左ノ如

(イ)第一期 從來ニナキ所ニシテ兩軍艦船ハ集合地

ニ在泊シテ演習ニ關スル攻究等ニ從事ス

(注意) コレ從來ノ演習ニテハ演習開始ニヨリ始メテ演習部

隊ノ指揮關係成立スルモ同時ニ出動演習行動ニ移リ

此間少許ノ餘裕ナク其他種々ノ點ニ於テ不便アリシ

ヲ除カンカクメナリ

(ロ)第二期 從來ノ第一期ニ相當ス

(ハ)右ノ如クナルヲ以テ今回ハ演習開始前ニ各種ノ

用意打合せ等ヲナサストモ第一期演習中ニ之ヲ

ナシ得ルヲ以テ演習關係諸員ハ是等ノ爲ニ從來

ノ如ク強テ先發スルノ必要ナシ

三、東京、横須賀方面ヨリ陸路佐世保ニ出張ノ演習關

係諸員ハ特ニ指定又ハ必要ナキモノハ十月二十四

日出發十一月八日歸著トシテ旅費ノ計算整理ヲス

六五五

四、統監部職員中先發シテ事務ヲ開始スルモノ左ノ如シ ルコトニ取計ハレ度		事務開始月日 同上場所	配屬 官氏名
十月二十四日	佐世保水交社	中央審判部	海軍少佐 佐藤巳之吉
但滿州入港後ハ同艦ニ移ル			
十月二十二日	佐世保水交社	海軍審判部	海軍大尉 服部 正計
十月二十二日	鐵海水交社	赤軍審判部	海軍少佐 松本嘉一郎
五、軍艦滿州行動豫定左ノ如シ (イ) 演習開始前 十月二十一日 横須賀發 二十五日 佐世保著 二十七日 小演習統監乗艦 (ロ) 演習開始後			
區別 月日	行 動	所 在	
期一第 十月二十七日		佐世保	
二十九日		青軍演習地	
三十日	佐世保發 演習地巡航	赤軍演習地	
期二第 三十一日			

期三第 十一月一日	演習地巡航	鎮海灣ニ入ルコトアルヘシ
二日	演習地巡航 佐世保入港	
三日		
四日		
五日		佐世保
六日		

○艦船所在
 ▲印ハハカリヲ要セス

○十月十六日午前十時調

【横須賀】 河内、生駒、八雲、周防、津輕、橋立、千早、松江、武藏、滿州、巨白霧、夕暮、夕立、三日月、巨夕霧、濃雲、陽炎、曙、龍、巨山風、海風、櫻、橘、不知火、薄雲、浦風、江風、巨鷗、雄、鴻、白鷹、巨潜一三、潜一、潜二、關東、高崎、勝力、栗橋丸、長浦丸、見、第八多聞丸、音羽、大王、埼、大、王、淡、吹雪、有明、吳、攝津、鞍馬、伊吹、常磐、石見、大和、千歲、殿島、巨彌生、夕風、潜六、潜七、椅子山丸、板橋丸、宮、島、疾風、追風

廣島	富士	對馬
生	磐手、淺間	出雲、桂、楓、松、杉
德	青島	櫻、柳、檜
高	伊勢	柏、桃
神	比叡、利根、沖島、最上、嵯峨、宇治	
大	水六七、水六八、水七〇、水七一	
佐	比叡、利根、沖島、最上、嵯峨、宇治	
世	比叡、利根、沖島、最上、嵯峨、宇治	
長	日向	
鹿兒島	韓崎、駒橋、水一六、水一八、水一九、水二〇、水二一	
舞	三笠、見島、真鶴、千鳥、鶴、隼	
鎮	水七五、水七二、水七三、水七四、淀橋丸	
馬	白雲、朝潮	
旅	千代田、鷺、鷺、雲雀、鴉、白銀丸	
馬	以智丸、鹿兒島丸	
南洋群島	秋津洲	
上	伏見	
宜	鳥羽	
香	如月、初霜、神風、響	
新嘉坡	矢矧、泥	
ス	筑摩	
ス	春日	

海軍公報第千五百三十九號 大正六年十月十六日

六五七

○雜款

○入港豫定
軍艦明石ハ來二十二日横須賀入港ノ豫定

○郵便物發送先
軍艦津輕宛
十月十七日迄ハ到達見込ノモノハ 横須賀
其ノ後ハ 佐世保